



田邊博士
 馬琴
 三年

卷二

13
 2946
 115



へ13
2946
115



115

昔時^ひ明友^{めいゆう}山東^{しやんと}何^{なに}ぞ。善^{ぜん}悪^{あく}一^{いつ}雙^{じやう}の玉^{たま}と麻^{あし}の^ひ子^こ。
 世^よ々^々輝^{あかり}と已^やよ三^{さん}遍^{へん}小^{せう}暨^{けい}なり。這^{こゝ}頃^{ころ}科^か書^{しよ}の
 主人^{しゆじん}余^あよその四^し遍^{へん}孤^こ需^{しよ}む。烏^あ席^{せき}我^{わが}川^{がは}童^{どう}子^しの尻^{しり}
 玉^{たま}とぬく。奚^{あや}下^げ和^わ子^しの眼^め玉^{たま}と欺^{あざむ}ん今^{いま}や城^{しろ}玉^{たま}
 三^{さん}遍^{へん}廻^{まわ}る煙^{えん}州^{しゆ}包^{ほう}舖^ぷの川^{がは}も一^{いつ}も隱^{かく}る。沈^{しん}海^{かい}はも
 把^{つか}るる。閻^{えん}相^{しやう}如^にも全^{ぜん}く一^{いつ}か。故^{ゆゑ}に
 洞^{どう}の壁^{かべ}返^{かへ}して辞^{ことば}をいへる。道^{みち}をよむく。
 需^{しよ}む塞^{さい}と。是^{こゝ}に我^{わが}作^{した}の換^{かへ}む。通^{すう}書^{しよ}録^{ろく}の
 親^{おや}む授^{たま}く。丙^{へい}辰^{しん}春^{はる} 馬^ま琴^{しん}識^し



首 (Head) 金 (Gold) 生 (Life) 珠 (Pearl) 玉 (Gem) 尻 (Buttocks)
 手 (Hand) 足 (Foot)

此の如くは人の身も
 金銀珠玉の如く
 生かすべし
 死なば
 何の用も
 無し
 故に
 生かす
 事
 重し

此の如くは人の身も
 金銀珠玉の如く
 生かすべし
 死なば
 何の用も
 無し
 故に
 生かす
 事
 重し

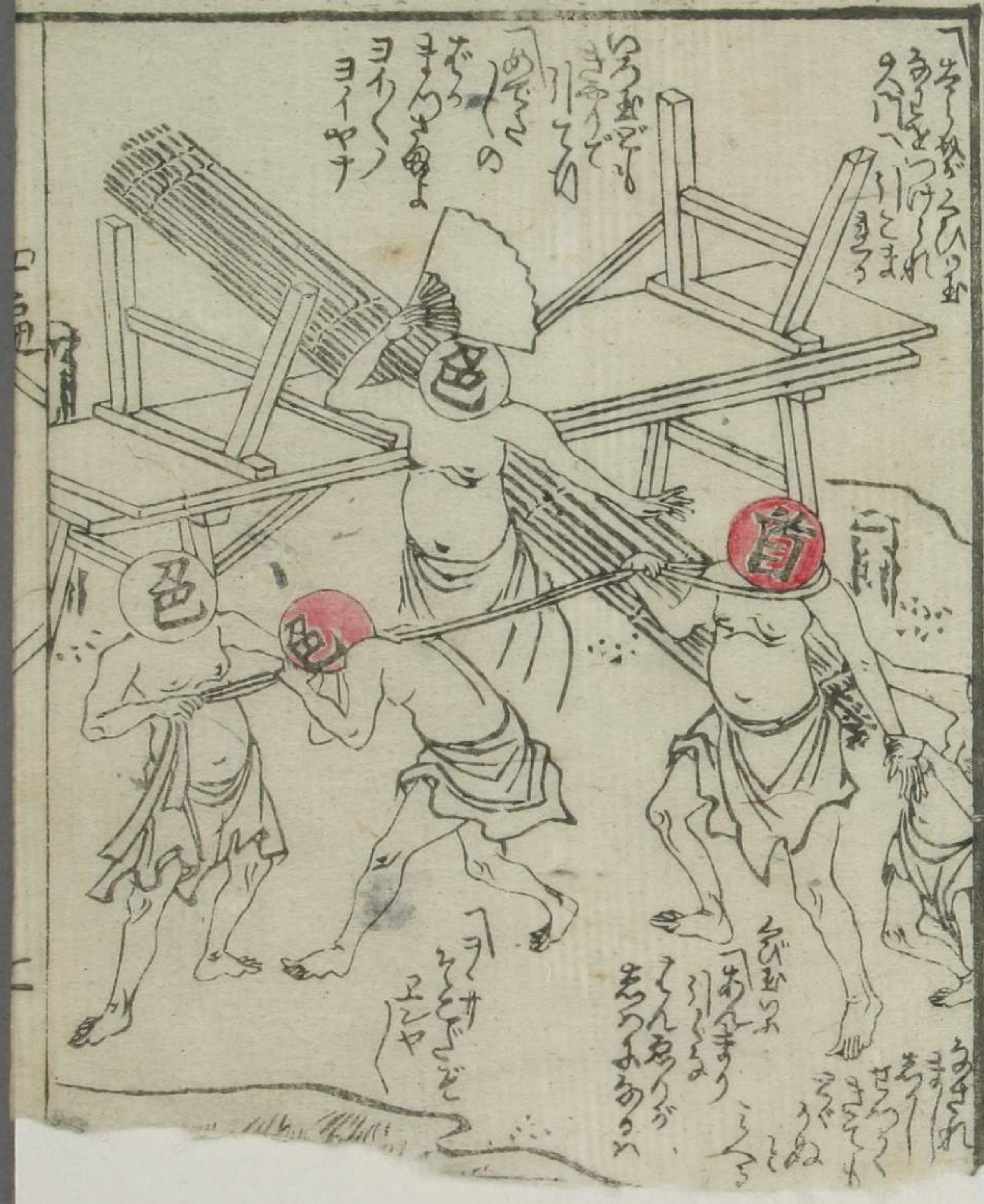
同話休聽 (Same story, please listen)
 不許燒琴煮鶴之俗入菴中 (Do not burn the zither or boil the crane, a custom that has entered the temple)
 雕竊慢筆 (Stealing and writing slowly)

此の如くは人の身も
 金銀珠玉の如く
 生かすべし
 死なば
 何の用も
 無し
 故に
 生かす
 事
 重し

此の如くは人の身も
 金銀珠玉の如く
 生かすべし
 死なば
 何の用も
 無し
 故に
 生かす
 事
 重し









おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい

おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい

おちいぢいよりの
すこちぢい

おちいぢい
すこちぢい



おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい

おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい
おちいぢいよりの
すこちぢい

おちいぢいよりの
すこちぢい

おちいぢい
すこちぢい



此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り

此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り

此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り



此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り

此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り

此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り

此の山は
 昔より
 名高く
 山王の
 御座り
 此の山
 王の御
 座り

小便无用



元來大事身聞
 善魂如福神
 一心堪忍袋
 飛鋌打愚人

第五十丁大吉

元來大事身聞

惡王齊魔道

善魂如福神

一心堪忍袋

飛鋌打愚人



曲亭馬琴作

